

令和元(2019)年度「夜間中学」に関するニーズ調査結果(概要)

栃木県教育委員会事務局総務課教育政策担当

1 目的

本県における中学校夜間学級(以下「夜間中学」)の設置にかかる需要及び課題等の現状を把握する

2 方法

- ・調査期間 令和元(2019)年10月7日(月)から令和元(2019)年12月25日(水)まで
- ・調査対象 県内在住の方(外国人を含む)
- ・調査方法 アンケートはがき付きリーフレットを配布及び啓発用ポスターを掲示
493箇所(ポスターのみも含む) 計40,257枚配布
- ・有効回答数 960通(日本語版877通、英語版28通、中国語版14通、
ベトナム語版12通、ポルトガル語版29通)

3 結果

○「夜間中学」があったらよいと思うか。

思う…853通(88.9%) 思わない…104通(10.8%) 無回答…3通(0.3%)

(参考)「思う」(853通)の内訳

居住地別 (上位5市町)		国籍別 (上位5カ国)		年齢別	
宇都宮市	457通	日本	724通	15～19歳	172通
栃木市	63通	ベトナム	17通	20～29歳	96通
小山市	46通	中国	17通	30～39歳	81通
真岡市	39通	ブラジル	16通	40～49歳	173通
鹿沼市	32通	ペルー	13通	50～59歳	128通
				60歳以上	194通
				無回答	9通

○「夜間中学」があったらよいと思うのはなぜか。(「思う」と回答した人のみ複数回答)

自分が通いたい…197通(23.1%) 家族や親族に通わせたい人がいる…91通(10.7%)
友人や知人などに通いたいという人がいる…154通(18.1%) その他…466通(54.6%)

(参考)「自分が通いたい」(197通)の内訳

- ・居住地別に見ると、宇都宮市在住の方が最も多く、次いで、栃木市、鹿沼市の順。
- ・日本国籍の方が6割以上を占めている。
- ・年齢層別では、15～19歳が最も多く、次いで20～29歳、60歳以上の順。

(参考)「その他」(466通)の例

- ・より多くの人に勉強できる機会があると良いと思うから。
- ・外国籍の人や様々な理由で学習ができなかった人のために。
- ・不登校の増加、外国籍の保護者の増加に伴い、学びの機会があれば勧めたいと思っ
ているから。